

○水生生物モニタリング調査結果一覧（宇多川C）

<宇多川C 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点	○	○	○	○	○	○
C-6	○	○	○	○	○	○

<宇多川C 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
調査地点	37.7764°	140.8877°	R1.11.6	10:43	10:50	11.8	12.4	砂	2.5Y 4/2	なし	0.65	>50		
C-6	37.7764°	140.8877°	R1.11.6	10:43	10:50	11.8	12.4	砂	2.5Y 4/2	なし	0.65	>50		

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点	37.7764°	140.8877°	R1.11.6	10:43	7.5	<0.5	1.7	10.9	9.8	0.05	0.9	2	3.6	N.D. (0.0015)	0.019	0.0010
C-6	37.7764°	140.8877°	R1.11.6	10:43	7.5	<0.5	1.7	10.9	9.8	0.05	0.9	2	3.6	N.D. (0.0015)	0.019	0.0010

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
調査地点	37.7764°	140.8877°	R1.11.6	10:50	7.6	512	16.5	0.8	4.1	2.702	27.4	49.2	22.5	0.7	0.2	1.4	9.5	3.1	40	0.17	
C-6	37.7764°	140.8877°	R1.11.6	10:50	7.6	512	16.5	0.8	4.1	2.702	27.4	49.2	22.5	0.7	0.2	1.4	9.5	3.1	40	0.17	

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
C-6	宇多川本流	37.7764°	140.8877°	R1.10.21	節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	68	0.041	幼虫	—	—	2.6	N.D. (1.4)	2.6	—
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	13	0.51	未成体	—	—	12.81	0.81	12	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.048	未成魚	不明消化物	内臓除去	4.4	N.D. (1.4)	4.4	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	カサガ	<i>Cottus reinii</i>	ウツセミカジカ	2	0.013	未成魚	ヘビトンボ類	内臓除去	8.1	N.D. (2.7)	8.1	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	40	0.13	未成魚	—	—	8.06	0.66	7.4	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	318	1.6	未成魚/成魚	—	—	5.1	N.D. (0.29)	5.1	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	57	0.48	未成魚/成魚	—	—	7.44	0.44	7.0	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	0.014	未成魚	—	—	54	N.D. (3.8)	54	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>	サケ	2	5.4	成魚	空胃	内臓除去	N.D.	N.D. (0.46)	N.D. (0.23)	N.D. (0.016)
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	48	0.13	成魚	—	—	9.49	0.79	8.7	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ									
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius sp.</i>	ヨシノボリ属									
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.22	—	—	—	7.6	N.D. (0.45)	7.6	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。